



住みよい町づくりへ
議会と住民をつなぐ

第**50**号

平成23年7月20日

河津町議会だより



白馬南小・河津東小児童交流会（ペロバ海岸）

主な内容

- 第2回定例会……………2P
- 町長行政報告……………3P
- 一般質問……………4～8P
- 議員研修・視察……………9P
- 議会の動き、私の一言……………10P

平成23年 第2回定例会 (要旨)

6月14日、15日に開かれた第2回定例会は、下記の通り第1日目は、町長の行政報告に続いて、3名の一般質問が行われ、第2日目には、2名の一般質問が行われた。報告案件2件、同意案件1件、承認案件4件、条例案件2件、平成23年度補正予算5件を審議し、すべて原案通り可決承認した。

- 6月14日(火)…○町長の行政報告 ○一般質問(3名)
- 6月15日(水)…○一般質問(2名)
- 報告第2号 繰越明許費計算書について(平成22年度河津町一般会計)
- 報告第3号 予算繰越計算書について(平成22年度河津町水道事業会計)
- 同意第2号 固定資産評価員の選任について(見高1260番地の27 飯田 稔氏)
- 承認第1号 専決処分の承認を求めることについて
(平成22年度河津町一般会計補正予算 第12号)
- 承認第2号 専決処分の承認を求めることについて
(平成22年度河津町土地取得特別会計補正予算 第1号)
- 承認第3号 専決処分の承認を求めることについて
(河津町国民健康保険条例の一部を改正する条例について)
- 承認第4号 専決処分の承認を求めることについて
(平成23年度河津町一般会計補正予算 第1号)
- 議案第43号 河津町税条例の一部を改正する条例について
- 議案第44号 河津町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について
- 議案第45号 平成23年度河津町一般会計補正予算(第2号)
- 議案第46号 平成23年度河津町土地取得特別会計補正予算(第1号)
- 議案第47号 平成23年度河津町介護保険特別会計補正予算(第1号)
- 議案第48号 平成23年度河津町水道事業会計補正予算(第1号)
- 議案第49号 平成23年度河津町温泉事業会計補正予算(第1号)

可決した23年度補正予算

●河津町一般会計補正予算

歳入歳出に28,565千円を追加し、総額をそれぞれ3,506,690千円とする。
これは4月の人事異動により、各課の給料、その他人件費の変動による補正のほか、子育てファミリー住宅整備支援事業10,000千円、不妊治療費援助費4,500千円、防災費10,897千円、中学校体育館雨もり改修工事3,681千円など。

●河津町土地取得特別会計補正予算

歳入歳出に487千円を追加し、総額を歳入歳出それぞれ917千円とする。

●河津町介護保険特別会計補正予算

歳入歳出に130千円を追加し、総額を歳入歳出それぞれ703,861千円とする。

●河津町水道事業会計補正予算

4月の人事異動等により収益的支出を6,317千円を追加し、水道事業費を183,293千円とする。

●河津町温泉事業会計補正予算

4月の人事異動等により収益的支出を1,165千円を減額し、温泉事業費を115,648千円とする。

平成23年 第2回定例会行政報告 (抜粋) 6月14日

町長の行政報告



●職員の人事異動

4月1日付で51人の人事異動の発令。まちづくり推進課を新設、窓口税務課を町民生活課に名称変更、新規採用4人、平成22年度の退職者は1人、職員交流等で東伊豆町へ7人の派遣。

●東日本大震災地への職員派遣

岩手県山田町と大槌町を中心に支援。5月19日より28日まで事務職員1人、5月23日より27日まで保健師1人派遣。

●津波避難訓練

5月21日に県下一斉で実施、下河津8地区の自主防災会等の協力で494人の参加。

●河津バガテル公園

まちづくり推進課を主に、7人の委員構成で在り方検討委員会を設置、バラ園、フランス広場の運営方法など検討された。なお7月15日からフランス広場の入園無料化。

●平成22年度の町税収納状況

町税は入湯税を除き、現年度分9億90万7千円で前年度比1,008千円の増、滞納繰越分は3,100万4千円で前年度比466万2千円の増、国民健康保険税は現年度分2億7,511万8千円で前年度比518万7千円の減、滞納繰越分は2,619万3千円と654万3千円の増、平成22年度県地方税滞納整理機構による河津町の移管分は10件で合計1,684万円の成果。

●東日本大震災の義援金

3月14日から受付、5月末時点で330万6,293円、内308万5,329円を日本赤十字社静岡支部へ送金した。

●少子化対策新規事業

県では「子育て理想郷ふじのくに地域モデル事業」を創設、当町では2事業が選定された。一つ目は「子育てファミリー住宅整備支援事業」この事業は18歳未満の子どもがいる家庭で新築、リフォームを行う場合の助成。二つ目は「不妊治療助成事業」カウンセリングや一般不妊治療費の助成。

●緊急経済対策

「河津町緊急経済対策住宅建築等助成制度」を創設、平成25年12月末日まで町内で木造住宅、新築、増築の

場合、固定資産税担当額の1/2、新築15万円、増築10万円を限度とし3年間助成。

●観光施設の利用状況

平成22年度の温泉施設は、踊り子温泉会館が69,316人前年比5,143人減、サンシップ今井浜は26,393人で480人増、見高入谷高原温泉は8,947人で、1,016人減、コテージ棟は802人、峰温泉大噴湯公園は、55,857人で13,464人減、カーネーション園は14,454人で745人増、花菖蒲園は10,719人で12,226人減、河津バガテル公園は、66,271人で23,468人減。

●河津町漁業経営振興会の発足

4月18日見高浜、浜、谷津、縄地地区の漁業者18人で発足、谷津支部では「海の朝市」を開催し盛況であった。

●教育委員会関係

設計管理業務の入札を行った。南小学校体育館屋根改修事業、112万3,500円で野田建築設計事務所が落札、中学校校舎体育館雨漏り改修事業は、75万6,000円で正木設計が落札し、文化の家読み聞かせ室増築事業は、稲葉設計事務所が112万3,500円で落札し契約した。

一般質問

納税状況は、町税、国保税、水道料 町長－今年度より来年度予算に苦慮

質問... 予算では自主財源が約35%です。その中の町税は大きな財源です。それとは別に、特別会計の国民健康保険税、企業会計の水道料、温泉料があります。それらの、徴収状況は。
町長... 22年度徴収状況は、町税が9億3,191万円、国民健康保険税が3億131万円、前年を上回る収入となりました。不況の状況下としては徴収担当者の努力の成果があった。しかし、非常に

厳しい経済状況であり、来年度予算編成は苦しい状況が予想される。
町民生活課長... 徴収対策は、静岡地方税滞納整理機構への移管も含め対応している。今年度も10件の移管を予定。
建設課長... 水道料1億6,688万円、収納率95.6%で、温泉料1億8,064万円、収納率94.9%です。
質問... 今後も、納付の義務について、啓蒙を図っていただき不公平がない様に。



岩手県 大槌町

防災対策、地震対策について

町長－海拔表示、避難看板の設置

質問... この度の東日本大震災は「自分の命は自分で守る」を教えてくれた。津波訓練実施に伴い、不備な部分、避難路等の改善も含めた取り組みは、町としての、防災シュミレーションは。
町長... 大槌町、山田町と視察をした。町が壊滅状態で

訓練の成果もあり、炊き出し等敏速に対応できたとのことでした。今後町として防災計画も立てていく。尚、防災ラジオの追加、海拔表示、避難看板の増設を実施していく。
質問... 防災訓練で意識をたかめる為にも、学校等公共施設も含めた参加を。
町長... 学校は防災計画のもとで対応をしている。要援護者の避難も含め取り組む。
質問... 想定外の自然の力は、一瞬ですべてを破壊します。



渡辺 弘 議員

町民の認識を高く持つような訓練をして下さい。

介護施設の充実

町長－介護保険計画により取り組む

質問... 町の人口内容は65歳以上が30%を超える状況です。高齢化社会対策とし、介護施設の充実が必要。現在も特養ホームに入所の希望者が64名ほどいる。町民を優先的に受け入れてくれる施設の計画は。
町長... 地域密着形の特別養護老人ホーム（サテライト型）の制度がある。地元優先の施設とし、町の介護保険計画の中に位置づけ（24年度～26年度）の計画に盛り込みたい。
質問... 町民の声が大きい事案をしっかりと対応してほしい。現在介護をしている町民の生活の問題もあり、早い対応をお願いしたい。総合計画の一人ひとりが輝くまちづくりの為にも、ぜひ早期に取り組んでいただきたい。

地震対策、津波対策は 町長－自分の命は自分で守る

質問... 東日本大震災をふまえての教訓は、5月21日津波避難訓練の成果は。
町長... 津波より山崩れの方が危険かと考える。防災マップ、避難所、海拔表示の見直しをつけ加える。避難訓練、防災教育を周知していく。避難経路の整備も今後進めていく。地図上での避難経路を確認する方法もあるので、進めていく。
質問... 各地区ごとに防災委

員を設定してはどうか。
町長... これからは各自主防災会に1名の防災士の育成を課題として考えていく。
質問... 町内には2681名の65才以上の方がいる。回覧板の届かない方もいる。その方たちの避難、訓練はどうか。
町長... ひとり暮らしの方や災害時要援護者の方については平成21年に災害時要援



宮城県 名取町

護者避難計画を作成し台帳の整備をした。保健福祉課、総務課、民生児童委員、社会福祉協議会、各自主防災会に配布して安否確認や救助に役立てる様になっている。今後は個別計画を作成。こういう方々

バガテル公園在り方検討委員会について

町長－バラ公園は継続する

質問... 会議は公開か、内容はどうか、予定はどうか。
町長... 町内入園者の推移から町民憩いの場という感覚は薄れてきたかと感じている。委員会では公園の達成すべき目標について議論をしている。バラ公園を廃止する考えはない。
副町長... 会は基本的には公開だが一般傍聴は遠慮をお

願いしている。各報道には告知して取材を認めている。傍聴遠慮の理由は、委員である町民の方々が場合によっては思い切った意見が述べられないかと懸念しての判断。内容は今迄2回の中で各委員が自由に公園の将来について意見を出している段階でまとまっていない。町からは論点を。



小林和子 議員

への各種の広報は民生委員にお願いし、しっかりとした避難体制を作成する。
学童の対策は県教委が作成した地震防災対策マニュアルに沿い、5つの学校で年度ごとに計画を策定し対応している。内容は役割分担、避難経路、情報広報の活動など。
小林... 国や県の計画を待たなくともできることには積極的な取り組みを望む。すべての地区で本格的な津波対策、土砂対策を一刻も早く整えられるよう要望する。

1. 今までの成果検証
2. 今後の在り方
3. 運営の形
について意見をお願いしている。
今後は7月までに検討会の結論をまとめて町長に提言をし、町はこれを受け止め、議会で相談しながら、来年度以降の在り方について形をつくっていきたい。
小林... 官民なれあいの第三セクター方式には反対。伊豆は花半島を大いに宣伝し誘客をしていく事が大事。

相馬町政の自己評価は

町長—行政改革の一環としての意識改革と機構改革に成果

質問...川勝知事も自己評価をしている。相馬町政の1年間の自己評価と今後の3年間の取り組みは。

町長...職員に対し、仕事における費用対効果を検証する意識付けが出来た。町民からも役場が大変明るくなったと、評価を頂いている。機構改革においては、町づくり推進課を創設し、将来に向けた町づくり(地域支援活用補助金制度の活用等)に取り組む。今年は、県の「子育て理想郷ふじのくに」事業に手を上げ、モデル事業に取り組み、子育て支援の充実を図る。また、各産業毎の連携を図り、新たな産業の創出による定住人口の増加を図る。町政の基本は、情報公開・情報発信として今後も取り組んでいく。

実施計画の内容は

町長—県における事業棚卸表等を参考に評価システムの構築に努める

質問...全戸に配布された第4次総合計画を読むと、3年間でどうなるという実施計画の部分が不明確である。仕事をしていく上で、各項目の計画(目標)が必要。どうなっているのか。

町長...実施計画あるもの・作製中のもの・未作成のものがある。細かな実施計画

については、毎年行う事業ローリングにおいて、進めてきている。

質問...目標管理の手法が導入による自己業務の明確化がなされて、初めて評価する仕組みが出来る。県のデータに依ると、各項目のランク表ある。河津町が何番目にいるかがわかる。詳細な実施計画を作製する考えはあるか。

町長...事業がなされた後に数値的検証が、必要だと考えている。県における事業棚卸表や先進地の事例等を参考にして、成果をしっかりと検証する方向を強めていきたい。

町有財産の活用について

町長—未活用の財産の活用計画をスピーディーに作成したい

質問...23年度予算編成方針にも町有財産の有効活用がうたわれている。どれだけの財産があり、活用・計画中及び未活用なものの状況は。

総務課長...普通財産は、山林及び原野で約790町歩・宅地・道路残地等、合わせて約794町歩あります。土地利用が約12%・建物の利用が約10%であります。



わくわくの森 第一駐車場



土屋 貴 議員

町長...一番大きなものが鉢に山の約315町歩あります。わくわくの森で96町歩利用している。未利用地については観光資源や地域振興の面から活用を考えたい。

質問...南中跡地については委員会の答申が出て一年以上経過している。また、上佐ヶ野地区については、今年度道路整備予算もついている。1社1村運動・ブルーベリー園・わくわくの森・三段の滝等という点の施設を町有地を含めた面的な計画を作りませんか。

町長...南中跡地は、企業からの申し出もあったが、正式に文書でお断りした。第4次総合計画を踏まえ、河津町の一等地としての計画を作りたい。上佐ヶ野地区については、スピーディーに進めていく。

教育行政について

教育長—社会教育は寿大学、緑の少年団、遊び名人塾

質問...今、言葉が乱れ始めているのではないか。今後町はどのような方向で学校教育、社会教育を行っていくのか。

教育長...学校教育の立場としては、本来の使い方を指導するが、社会の流れ、文化の流れの中で少しずつ言葉というのは変わっていく



5月16日 寿大学開校式



6月18日 健康講座(上地区)

ものだと考える。学校教育では、校長先生方に、河津の自然と地域を取り込んだ学校運営と教師の仕事は教えることという確認をお願いしている。社会教育については、多くの事業があるが、65歳以上の寿大学、小学校高学年の緑の少年団、小学校低学年の遊び名人塾の3つが要だと思っている。

副町長登用の効果について

副町長—県・国の補助事業・新規事業を注視

質問...改正後の例規については、いつごろホームページで公開するのか。

副町長...9月の定例会で、条例の改正や廃止の案を出させていただき、定例会以降速やかにいきたい。

質問...県とのパイプを生か

して、活用できる予算はどんどん活用して、事業を行ってほしい。

副町長...町長の施策に関連した県や国の補助事業や新規事業を常に注視しながら、町の制度に取り入れていきたい。



川下 英一 議員

町政1年を振り返って

町長—町づくりは人づくり

質問...震災に関連した施策で、中小企業は利子補給制度を創設したが、農業、漁業等の施策についてはどうか。

町長...農業者や漁業者から声があれば、対応していきたい。

質問...計画停電の対応については。

町長...メディアの活用等もあるが、計画停電の伊豆急行の特急問題であれば、伊豆急行本社へ訪問し要望も行っているし、県や国へ出向くことがあれば、他の部署へも足を運び、河津町の抱える問題について相談をしている。

質問...町長の忙しさが、町民には理解されていないのではないか。

町長...まちづくりをしていく基本として、人づくりをしっかりしなければならぬ。将来のまちづくりに全力投球して働かせていただきたい。

天心会建物の解体は

町長－南禅寺の仏像24体を 保存する収蔵庫の建設

質問...天心会建物の解体による今後の作業日程と目的について。

町長...県と町の指定文化財24体を収納する収蔵庫を建設したい。

教育長...仏像の補助率が教育委員会では11/24体×1/2率となる。ので補助率の高い担当課にすべき。

産業振興課長...予算の概要は22年度は900万円。23年度が1,500万円。24年度が1億5,000万円。全体で約1億3,000万円。その内県費補助は3,400万円である。

質問...費用対効果の観点から見れば町の中心の町有地に仮称『河津町歴史文化郷土資料館』を建設し所有者

である谷津区の了解のもと南禅寺の仏像24体、峰区の善光庵仏像、段間・姫宮の遺跡資料等一同に展示、すべきと考えるが...町長...谷津区民の意向もあるので、提案として聞く。谷津の入り口から南禅寺までの道路整備を含めて、今後の整備計画を提案したい。



南禅寺堂 薬師如来座像 (平安初期)

国民宿舎かわづの運営は

町長－責任は感じている。施設の在りかた検討委員会で国民宿舎かわづ・七滝観光センターと併せて検討

質問...22年度の決算では国民宿舎かわづは赤字40万6千円、基金の修繕費取崩し96万8千円である。コストに対する意識が低いのでは

ないか。経営を丸投げしているのではないか。町長の責任は。

町長...23年3月定例議会で決算の見通しは昨年なみの



坪井弘司 議員

黒字と報告したが赤字となった。責任は非常に感じている。

質問...県の耐震基準では平成28年3月までに耐震補強すべきとしているがない場合は解体と聞いている。赤字決算を踏まえ一日も早く対策を考えるべきである。建物解体建替えも視野にいれて早急に取り組むべきと考えるが如何か。

町長...施設の在りかた検討委員会でそれぞれのあり方、運営について検討。

サンシップ今井浜の 運営は

町長－修繕費が高んでくるので今後の方向性をつけたい

質問...平成21年度の赤字1,583万9千円。平成22年度の赤字1,739万8千円。平成23年度の予算は最初から2,296万6千円の赤字予算であり異常だ。町長の責任は。町長...修繕費が増加しているので大改修、解体も含めて検討したい。

議会研修レポート

河津桜をいかした町の活性化

神奈川県三浦市

千葉県鋸南町



南房総に位置し人口9,264人、面積45.16km²の町です。

河津町より河津桜を2本提供していただき、現在町役場の前に原木として植栽されている。平成13年より河津桜で町づくりを推進し22年度までに1万4千本を河川周辺とダム周辺に町民自身により植栽管理が実施された。地域ボランティア活動により季節の草花等も植栽され町民自身の手で、景観整備も進められ、花のまちづくりが、実施されていた。



三浦半島の先端に位置し人口49,290人、面積32.28km²の三方を海に囲まれた町です。

平成11年より河津桜を植栽し、桜の咲く里づくりの整備をしています。

現在駅周辺より小松ヶ池公園までに河津桜を植栽しています。公園に於ても桜の山をつくってあります。

今後も植栽事業とし千本を目標に取り組み、桜の名所に育て、ハイキングコース等の整備をまちづくり会員を中心に取り組んでいる。又、河津桜の名称で桜の町づくりを推進していた。(渡辺)

議会一コマ

合併浄化槽設置整備事業補助金交付改正案

いままで町は、生活排水による水質汚濁防止のため、助成事業(補助金交付)に取り組んできました。今後町の財政状況もふまえ、この事業を長期的に継続していくため、補助の見直しをし改正をしていきます。

〈平成24年度実施の予定です。〉

- 改正案 ○新設は廃止(建築基準法による義務化により)
- 設置替え

| 人槽規模 | 現行限度額 | 改正限度額 |
|-------|------------|------------|
| 5 | 645,000円 | 516,000円 |
| 6～7 | 778,000円 | 622,000円 |
| 8～10 | 1,014,000円 | 811,000円 |
| 11～20 | 1,940,000円 | 1,552,000円 |
| 21～30 | 3,050,000円 | 2,440,000円 |
| 31～50 | 3,491,000円 | 2,793,000円 |
| 51～ | 3,915,000円 | 3,132,000円 |

(渡辺)

訂正 (第49号) P11 (誤) (正) (誤) (正)
 ■従業員数 バガテル公園 24人→52人 ■七滝観光センター 34人→6人



土屋 桑太郎 議長

議長の諸般の報告と
議会の動き

3月

- 17日 河津中学校卒業証書授与式
- 23日 交通安全対策委員会

4月

- 1日 河津町役場職員辞令交付式
- 3日 河津町消防団入団式(河津中学校)
- 4日 わかば保育園入園式
- 6日 河津中学校入学式
議会広報編集委員会
- 14日 河津町漁業経営振興会設立総会
- 18日 議員月例会(勉強会)
- 21日 3月分例月出納検査報告書を受ける

5月

- 11日 春の交通安全街頭広報(伊豆急河津駅前)
下田警察署管内防犯協会総会(下田署内)
- 12日 伊豆食品衛生協会河津支部総代会
- 13日 河津町自衛隊協力会総会
- 17日~18日 全国町村議会(議長会主催)議長、副議長研修会(東京都)

- 22日 (仮称)冷井浜病院地鎮祭(伊豆急今井浜海岸駅裏側)
- 23日 4月分例月出納検査報告書を受ける
- 24日 静岡県町村議会議長会総会(静岡市)副会長に就任
河津町商工会通常総会(バガテル公園)
- 25日 河津町観光協会総会
- 26日 賀茂郡議長会(東伊豆町)会長に就任
- 30日~31日 議員視察研修

(千葉県鋸南町・神奈川県三浦市)

6月

- 3日 静岡県地方議会議長連絡協議会総会(政策研修会)
- 7日 農業経営振興会総会
- 8日 伊豆縦貫自動車道建設促進期成同盟会及び合同促進大会(東京)
- 9日 議会運営委員会
- 10日 富士山静岡空港利用促進協議会総会



～私も一言～

東日本大震災において犠牲者となられた多くの方々
に心よりお悔やみ申し上げます。
消防団は、水・火等災害から町民の生命身体及び財産を衛るのが使命である。
今回の様な大津波災害においては、消防団の活動も困難であろう。
消防団の避難誘導がなければ避難出来ないと言う声もあるがそれは如何なものか。
災害に

おいては、各地区自主防組織の強化が必要ではないかと思う。
又、町民それぞれの防災意識の向上が必要であると
感じる。消防団員も高齢化し若手の入団が年々減少している。
町内在住でも入団を拒否する若者も増えて来ているようだ。
各家庭や職場での消防団に対する理解と協力をお願いしたい。

河津町消防団副団長

稲葉 壽英

編集後記

自分の命は自分で守る。初期行動の大切さ。常日頃からの意識。
災害の恐しさを忘れない努力等々、東日本大震災は多くの事を教えてくれた。
町でも防災ラジオや海拔表示等防災対策に着手した。今すぐ出来るソフト面を充実し、減災の努力をすすめていきたい。

(土屋)